

9690

第一號



房官臣大		課局務主		裁	決	大臣	件	番受
了結	領受	出提	領受					
大正 〇年	大正 〇年	大正 〇年	大正 〇年	經會第一二〇號		委	家屋取毀及損害賠償請求ニ関スル件	臺第一八〇號
四月二十日	三月	七月一日	九月八日	主務局長	參事官			
長局帶聯		主務局長		高級副官		主務副官	李	震
長課帶聯		主務課長		主務副官				
者記筆案審		主務課員		主計		田		
原		田		田				

表五

頁

副官ヨリ朝鮮警備部長、照會案 (陸魯)

首題、件ニ付朝鮮慶北道大邱府上西所

大捨番地李震ヨリ別紙、通催告有之候条

可然処理、上類未詳細報告相成度候也

逕ニ李震ニ貴官ヲシテ処理セシメラルヘキ旨通催

致置候条等知相成度候

大正官房ヨリ李震、通催案 (陸魯)

大正六年二月二十五日付ヲ以テ催告ニ係ル朝鮮慶

尚北道大邱府鳳山町貳百叁拾番地ニ於ケル

家屋取毀及損害賠償請求ニ関スル件ハ管轄

者ヨリ朝鮮駐劄軍經理部長ヲシテ処理セシメラル

倭原承知相成度候也

陸軍省送達

陸軍省
五七〇號

三月二日

陸軍



催告状

朝鮮慶尚北道大邱府上西所大拾畝地

催告人

李

震

日本市麴所尾

被催告人

陸軍省

右代表者陸軍大臣大島健一

家屋取毀及損害賠償請求ニ対スル件

右被催告人ハ大正五年九月拾日催告人ノ所有スル

朝鮮慶尚北道大邱府鳳山所貳百參拾畝地之四

ノ土地ノ最中点位ニアル立果樹四年生畧參拾株ヲ

劫伐シタル上朝鮮駐屯軍第二十歩團四十旅團

陸

省

八十聯隊ノ長官舎ノ附屬所用トシテ深サ畧二丈五尺
 周圍畧十二尺ノ用水井ヲ掘鑿シ上合地上ニ木造瓦葺
 日本建湯屋一棟建坪十貳坪ヲ建築シ該土地所有
 者タル權告人ニ對シ何等ノ交渉無之不法ニモ所
 有者ノ權利ヲ侵害シタルノコトラス今日ニ至ル迄該湯屋
 ヲ使用シツツアリ以テ所有者タル權告人ヲシテ該土地
 ニ於テ何等用益ニ立タサルニ至ラシメタリ依テ
 一被權告人ハ權告人ノ所有タル朝鮮慶尙北道
 大邱府鳳山町二百參拾番地之四ノ土地ニ掘鑿使
 用シツツアル深サ畧貳丈五尺周圍畧十二尺ノ用水井
 及合地上ニ建立シタル木造瓦葺平家日本建湯屋一

棟建坪拾貳坪ヲ大正六年三月拾日迄取毀ラヌヘキ事
 一被催告人ハ催告人ニ対シ大正五年九月拾日ヨリ
 右家屋取毀ニ至ル迄所有者タル催告人ノ權利ヲ
 侵害シ立果樹畧參拾株ヲ切伐シ談土地ラシテ
 何等用益ニ支タシナル損害賠償トシテ毎月金
 參拾円ノ割合ヲ以テ支拂フヘキコト
 一被催告人ヲ大正二年參月拾日迄右催告人ノ要
 求ニ應ジタル履行ヲ為ササル時ハ断然自由賣分ニ
 出ツヘシコトニ付右及催告者也

大正六年二月二十五日

右催告人 李 震印

陸軍省代表者陸軍大臣 大島健一閣下

本郵便物ハ大正六年二月二十五日書留第七八番
ラツテ内容証明郵便物トシテ差出シタルユトラ証明ス
大 郵 便 局

陸

陸軍省第一八〇號

朝憲第ニ三八號

催告状撤回ノ件通牒

大正六年四月十三日

朝鮮駐劄軍經理部長廣瀨

陸軍省副官 和田龜治殿

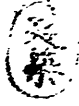


客月二十七日附朝經建第一九二號ヲ以テ陸
 軍大臣宛報告致置候家屋取毀及損害
 賠償請求ニ関スル催告状ハ今般別紙
 寫ノ如ク撤回方申出大邱府尹ヲ經テ本
 人ニ返戻致候間及通牒候也

陸軍



大正六年四月十六日



庚 癸 一 八 〇 二 二

朝經建第ニ三八號

六月十六日

陸軍省

催告状撤回ノ件通牒

大正六年四月十三日

朝鮮駐留警備部部長廣瀬

陸軍省副官和田龜治殿



客月二十七日附朝經建第一九二號ヲ以テ陸軍大臣宛報告致置候家屋取毀及損害賠償請求ニ関スル催告状ハ今般別紙寫ノ如ク撤回方申出大邱府尹ヲ經テ本人ニ返庚致候間及通牒候也

陸軍



大府土第七二号

大正六年四月十日

大邱府軍

軍經理部長殿

催告状所下書送付ノ件

兵房多下ノ付リ以テ所素系ノ處府上西ノ季
震ヲ陸軍省上書送付ニ先催告状撤回ノ
件ノ別成ノ通存人ヨリ所下各軍出少間
可成所計並申知別部及送付也

陸軍



催吉状可下ノ件

私儀

右ノ事二月五日付申取申取使向ノ内容認明
船便ヲ以テ朝鮮大邱府周山所止不著珍敷
地ノ西土地ニ関シ陸軍省ニ催吉状ヲ送シ先
知多取大邱府並朝鮮中央ト關關ニ解決致
事其後催吉状ノ可下致知
又白ノ事四月九日

朝鮮中央大邱府周山所止珍敷地

李震(印)

陸軍大臣大島健一閣下

陸軍

老第一八〇號 其一

朝鮮駐節 烈由 大正七年三月十七日
外司令部 朝經進 第一九三號

第一九二號

家屋取毀及損害賠償請求之件 報告

大正六年三月十七日

朝鮮駐劄軍經理部長 廣瀬 謙三

陸軍大臣 大島 健一 殿



三月二日附陸音第五七〇號ヲ以テ貴有副
官ヲ照會セ奉矣 貴願ノ件ハ今收解結
済多間其ノ願未允記及報告矣也

尤 記

一催告人李震ノ所有ニ係ル慶尙北道大
邱府鳳山町ニ有テ拾番地ノ四ノ土地ハ
従来所有者未定ノ地域ニシテ曩ニ朝鮮

光緒二十八年三月二十七日

朝鮮駐劄 領事 大正七年三月二十七日 第一九三號

第一九二號

家産取毀及損害賠償請求之件

大正六年三月二十七日

朝鮮駐劄軍經理部長廣瀬

陸軍大臣大島健一殿



三月二日附陸普第五七〇號ヲ以テ貴省副官ヲ照會セ奉美首領ノ件今之收解法

尤記

一催告人李震ノ所有ニ係ル慶尙北道大邱府鳳山町ニ有テ拾番地ノ四ノ土地ハ

臨時土地調査局、國有地トシテ査定セシ

モノナリ

三、大正四年九月四日所慶尚北道長官覽書
(別紙)第一項ニ依リ、獻納地域内ニ存在スル
國有地ハ總テ陸軍ノ管理、換用認濟
ナルヲ以テ、大正五年九月右土地上ニ五等宿舎

附屬トシテ浴室、臺棟ヲ建設セリ

(當時國有地トシテ朝鮮臨時土地調査局ノ査定済)

附記

當初五等宿舎附屬浴室ハ五年度新築宿舎ノ西方ニ建設スル豫定ナリシ
モ井水湧出ノ見込ナカリシ以テ位置變更ヲ要ヒシモノナリ

三、此ルニ李震ナルモノヨリ臨時土地調査局、査

定ニ對シ異議ノ申告ヲナレ
 大正五年十二月朔
 鮮高等土地調査委員會ニ右申告者
 ノ所有地タルコトヲ認定セラレテ突然家屋
 取毀及損害賠償請求ノ催告状ヲ發
 セシモノナリ

四、大邱旅團設置期成會ニ前項ノ如キ認
 定アリテ以テ之レカ所有權ノ獲得ニ努メ再
 ミ交渉ヲナセシモ所有者ハ不慮ノ要求ヲ以テ
 同會ノ求メニ應ズル外ニ李震ニ對シ債
 權者タル慶尚農工銀行ハ右土地ヲ差シ
 押へ競賣ニ附シ本年二月十七日大邱地

方法院：於テ林炳日ナルモノ競落許可ノ
 決定ヲ其ノナリ而シテ期成會ニ更ニ競落者
 ト賣買契約ヲ締結シ漸クシテ其ノ所有權
 シテ獲得スルコトヲ得タリ

五、然レトモ債務者タル李震ニ競落決定ニ對シ
 異議ノ抗告ヲナシ第一第二審トモ棄却ノ決
 定ヲ受ケ尚上告セントモ折柄貴省ヨリ催告
 状ノ回附ヲ受ケシテ以テ關係諸官廳トモ
 悞議シ且ツ各方面ヨリ其ノ不心得ヲ論サシメ
 タリ

六、其ノ後本人ニ大ニ自有スル所アリテ前記上告

〇取止メ期成會トノ間ニ貴買成主レ去ル三月
 十七日ヲ以テ移轉登記シナシ其ノ所有權ハ全ク
 期成會ニ轉移セリ而シテ浴室建設ニ對シ
 損害賠償ハ期成會ニ於テ處理スルコトナリ曩
 ノ催告状ハ本人ヨリ撤回ラナスコトハ恆更セシ旨
 令取關係諸官戸ヨリ通牒ニ接セリ
 以上ノ顛末ニシテ本件ハ茲ニ一段落ヲ告ケ該
 土地ハ不日期成會ヨリ献納ノ手續ヲナス筈ナ
 リ



覚書

大邱附近兵營敷地献納園に在記諸件、承諾并保
證ヲ為ス

一、献納地域内に存在道路及所屬官公署関係ノ園
有地(道路ヲ含ム)全部ヲ陸軍ニ管理換ヘ為スニ具

議ヲキコト

二、兵營宿舎建設著陸シテ大邱市街ヨリ車馬
ノ通行困難ナルヲ以テ取敢テ仮設道路ヲ設ケ永
久道路ハ陸軍ノ希望ニ應ジ大邱市街地下病
舎兵營練兵場ニ通スルモノ、新設及改修ヲ行フ
コト

- 三、大邱府上水道ヲ使用ノ為配水池ヨリ兵營所支
地及宿舍ノ位置ニ一幹線ヲ敷設ス但シ其ノ
所要量ノ最大限約千八百石ト尚防火栓用
ヲ顧慮シ之ニ適應ノ内至ラ有ル鐵管ヲ使
用スルモノトス又水道使用料、内地及朝鮮ニ於テ
此兵營所支地ノ例ニ準シ地方料金以下ニ可及的
輕減スルコト
- 四、敷地内及其附近ノ流水ヲ地方灌溉用ニ支障
ナキ限リ之ヲ陸軍ニ使用シ得ルコト
- 五、兵營敷地ノ献納ノ請願ノ訴肯及覺書ニ依リ
確實ノ實施セシムコトヲ確 保スルコト

0615

以上

大正四年九月四日

慶尚北道長官 李軫 鐸